

JIS

熱及び火炎に対する防護服－ 防護服の選び方，使い方，手入れの仕方及び メンテナンスの仕方の一般的事項

JIS T 8006 : 2020

(JSAA/JSA)

令和 2 年 3 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 保安技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	山内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
(委員)	緒方 隆 昌	一般社団法人日本非破壊検査協会
	木村 俊 夫	公益社団法人日本アイソトープ協会
	釘宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	小松 克 行	公益社団法人日本保安用品協会
	利岡 和 範	日本安全靴工業会
	根岸 公一郎	株式会社千代田テクノル
	野原 由樹子	一般社団法人日本防護服協議会
	堀田 光 乃	建設業労働災害防止協会
	山田 崇 裕	近畿大学

主 務 大 臣：厚生労働大臣，経済産業大臣 制定：平成 17.12.25 改正：令和 2.3.25

官 報 掲 載 日：令和 2.3.25

原 案 作 成 者：公益社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：保安技術専門委員会 (委員長 山内 正剛)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 選び方	2
4.1 一般	2
4.2 リスクアセスメント	2
4.3 対象作業における防護服の防護レベルの決定	3
4.4 防護服の入手に関する情報収集	3
4.5 選び方のための試着による評価	4
5 使い方	4
5.1 一般	4
5.2 教育	4
5.3 記録の保管	5
5.4 日常点検	5
5.5 使用中の評価及びモニタリング	6
6 手入れの仕方	6
6.1 一般	6
6.2 洗濯	6
6.3 有害物質の除去	7
6.4 保管	7
7 メンテナンスの仕方	7
7.1 一般	7
7.2 検査	8
7.3 修理	9
7.4 廃棄	9
附属書 A (参考) 熱及び火炎に対する防護服に関する規格	10
附属書 B (参考) リスクアセスメント	12
附属書 C (参考) 熱及び火炎のハザードのタイプと防護のために選択する防護服との関係例	13
附属書 D (規定) 製造業者情報及び表示に含む事項	15
附属書 E (参考) 参考文献	16
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	19
解 説	23

まえがき

c この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS T 8006:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

熱及び火炎に対する防護服—防護服の選び方、 使い方、手入れの仕方及びメンテナンスの仕方の 一般的事項

Protective clothing—Protection against heat and flame—General
recommendations for selection, use, care and maintenance of protective
clothing

序文

この規格は、2007年に第1版として発行された **ISO/TR 2801** を基とし、使用上の利便性を考慮するため技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、熱及び火炎に対する防護服（以下、防護服という。）の選び方、使い方、手入れ及びメンテナンスの指針について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO/TR 2801:2007, Clothing for protection against heat and flame—General recommendations for selection, care and use of protective clothing (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS L 0001 繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法

JIS T 8005 防護服の一般要求事項

注記 対応国際規格：**ISO 13688**, Protective clothing—General requirements

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

ハザード (hazard)